

研究課題名： 糖尿病高齢患者が持参したスルホニル尿素薬の使用状況調査および薬剤調整の検討

所属(診療科等)： 公立昭和病院 薬剤部

研究責任者(職名)： 新井 智美 (主事)

研究期間： 2020年8月5日～2020年12月31日

研究目的と意義： スルホニル尿素薬(以下、SU薬)は費用対効果に優れ、インスリン分泌が低下している糖尿病患者の多い日本人にとって有効な治療薬の一つである。
一方、SU薬は低血糖の副作用には注意が必要な薬剤であり、特に高齢患者は、低血糖を起こさないために用量の調節を考慮すべき薬剤であるが、入院時に高用量のSU薬を常用薬として持参する患者も見受けられる。そこで、入院時にSU薬を持参した高齢患者の糖尿病治療薬の使用状況および入院中の薬剤調整について検討する。

研究内容： ●対象となる患者さん
2019年に当院に入院した65歳以上の患者のうちSU薬の持参薬があった患者、および2017年～2019年に当院糖尿病・内分泌内科へ入院した65歳以上の患者のうちSU薬の持参薬があった患者。

●利用するカルテ情報
2019年に当院に入院した65歳以上の患者のうちSU薬の持参薬があった患者については患者背景のみ
2017年～2019年に当院糖尿病・内分泌内科へ入院した65歳以上の患者のうちSU薬の持参薬があった患者については患者背景および臨床検査値
診療科、生年月、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、身長、体重、持参薬・投薬情報 HbA1c値、腎機能、肝機能

●研究方法
診療科、HbA1c値、腎機能、肝機能、併用している糖尿病治療薬の種類、退院時の使用薬剤を電子カルテにおいて後ろ向きに調査する。

●利用する研究機関の範囲
公立昭和病院

問い合わせ先： 【研究担当者】
氏名：新井 智美 (薬剤部)
住所：小平市花小金井8丁目1番1号
電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912
【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)
総務課 042(461)0052 内線2247
受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)